

社協だより



あい

平成26年(2014) 3.17

第96号

編集・発行

社会福祉法人
南陽市社会福祉協議会

南陽市赤湯215-2
健康長寿センター内

TEL 43-5888

FAX 43-3161

E-mail: tyoju@ms3.omn.ne.jp

 この広報誌は赤い羽根共同募金の配分金により発行しています。

心温まるボランティア活動



ありがとうございました

平成26年2月2日(日)

南陽青年会議所、南陽高校JRC部、小学生ぼらんていあひろば「ぴよっこ」、中高校生ボランティアサークル「にじ」の総勢60名のみなさんが、除雪困難世帯の雪はき、高齢者施設の除雪と車いす磨きをしてくださいました。

ふれあいネットワーク

 南陽市社会福祉協議会

避難者交流事業を開催しました

その1 「料理教室」

10月22日(火) 第2回目の料理教室が行われました。
 石黒重子先生の楽しいトークを交え、地域の方との交流を兼ねて山形の風物詩の「芋煮」や「ホタテときのこの炊き込みご飯」等を作りました。
 皆さん初対面ながらもすぐに打ち解けて福島から避難されている方は、「おしょうしな〜は、恥ずかしいという意味だと思った…」
 「ほんねえ、ありがどさま〜って意味だごでえ」(笑)
 等、言葉の違いを話し合い自然と笑みがこぼれる楽しい料理教室となりました。



また、11月30日(土) 第3回目には親子料理教室が行われました。小野道子先生の指導で子供たちの喜びそうなメニューを作りました。お母さんたちの心配そうな顔をよそに子供たちは子供用包丁を握って、お母さんになったつもりで満足気に腕を振っていました。

その2 「育メンパパのお話会」

12月16日(月)、現在福島県にお住まいの中学校教員で育メンパパの武田先生にお越しいただき「戻って感じる福島の今」と題してお話会を開催しました。



避難先の新潟から帰還後は、各方面に出向き子供たちが親にも話せずにいる原発の不安、離れて暮らすお父さんたちのストレスや食生活、子供たちの遊び場、放射線に関するお話等、より深刻になっている現状を伺いました。

ランチ会を挟んでの相談会では、各々胸に抱えている思いを吐き出して先の見えない不安の中、皆さん状況は違えども同じ母親として聞き入っていました。

現在、武田先生は福島市で「ぱぱカフェ」などにも意欲的に参加し、お父さんたちの相談にも耳を傾けています。

認知症サポーター養成講座を開催しました

「認知症を学び地域で支えよう」と題し、12月11日(水)、18日(水) 老人いこいの家で行いました。
 「認知症の症状」「認知症の人との接し方や心構え」「認知症にならないために」とお話をいただきました。
 参加者からは「わかりやすく人の気持ちも考えることができた」「お互いに気をつけていかなければね」との感想がありました。

もの忘れ“めやす”リスト

この“めやす”リストを使用してみてください。ただし、この結果だけで診断はできません。あくまで“めやす”にすぎません。

現在の日常生活と**1年前の状態**を比べてください。合計点が24点以下だった場合、まずはかかりつけ医に相談してみるか、最寄りの相談窓口(かかりつけ薬局、地域包括支援センター等)に問い合わせることをおすすめします。

	悪くならな い			悪くなら ない			
	2	1	0	2	1	0	
① 曜日や月がわかる	2	1	0	⑩ 手紙を書いている	2	1	0
② 前と同じように道順がわかる	2	1	0	⑪ 数日前の会話を思い出すことができる	2	1	0
③ 住所・電話番号を覚えている	2	1	0	⑫ 数日前の会話の内容を思い出させようとしても難しい	2	1	0
④ 物がいつもしまわれている場所を覚えている	2	1	0	⑬ 会話の途中で言いたいことを忘れることがある	2	1	0
⑤ 物がいつもの場所がないとき、見つけることができる	2	1	0	⑭ 会話の途中で適切な単語がでてこないことがある	2	1	0
⑥ 洗濯機やテレビのリモコンなど電気製品を使いこなせる	2	1	0	⑮ よく知っている人の顔がわかる	2	1	0
⑦ 自分で状況にあった着衣ができる	2	1	0	⑯ よく知っている人の名前を覚えている	2	1	0
⑧ 買い物でお金を払える	2	1	0	⑰ その人たちがどこに住んでいる、仕事などがわかる	2	1	0
⑨ 身体の具合が悪くなったわけではないのに、気力がなくなってきた	2	1	0	⑱ 最近のことを忘れっぽくなった	2	1	0
⑩ 本やテレビの内容がわかる	2	1	0				

※本問昭・認知症介護研究・研修東京センター センター長監修
 (フランスの精神科医リッチーらによる論文=1996年=をもとに作成)

合計 点

山形県共同募金会南陽市支会です

運動推進期間 10/1～12/31 (3カ月間)

戸別募金・職域募金・街頭募金等にご協力ありがとうございました。

募金実績

募金種別	件数	金額
戸別募金	150件	3,424,850円
街頭募金	5件	70,119円
職域募金	56件	109,158円
その他	4件	23,794円
小計	215件	3,627,921円

戸別募金内訳

赤湯地区	850,140円
中川地区	191,250円
宮内地区	957,550円
漆山地区	334,350円
吉野地区	99,050円
金山地区	66,600円
沖郷地区	724,310円
梨郷地区	201,600円
合計	3,424,850円

職域募金

南陽市役所職員一同／公立置賜総合病院南陽市職員一同／公立置賜南陽病院職員一同／置賜広域行政事務組合消防本部南陽消防署職員一同／南陽市小中学校教職員一同／南陽高等学校教職員一同／各地区公民館職員一同／特別養護老人ホームこぶし荘職員一同／若葉の会一同／社会福祉法人陽光会いちょうの家職員一同／宮内双葉保育園職員一同／赤湯ふたば保育園職員一同／赤湯・宮内乳幼児保育センター職員一同／漆山保育園職員一同／南陽市社会福祉協議会職員一同（敬称略・順不同）

【山形県共同募金会に全額送金し次年度、市や県、施設等に配分になります】

尚7.18南陽市豪雨災害ボランティアセンターに、災害救援の支援を山形県共同募金会よりいただきました。

※歳末たすけあい募金につきましては、市報平成26年3月1日号にて報告させていただきました。

25年度 赤い羽根募金

生活の安定を目指してお貸しいたします

【修学資金・就学支度費】 諸事情により金融機関の学資資金の融資を受けることの出来ない低所得世帯にお貸しいたします。

資金種類	貸付内容	貸付限度額	
修学費	高等学校・大学または高等専門学校に修学するのに必要な経費	高校	月35,000円以内
		高専	月60,000円以内
		短大	月60,000円以内
		大学	月65,000円以内

資金種類	貸付内容	貸付限度額
就学支度費	高等学校・大学または高等専門学校入学に際し必要な経費	500,000円以内

両方とも卒業後6カ月の据置期間後償還、無利子です。

その他、[総合支援資金][福祉費][緊急小口資金]等があり、貸付内容や貸付限度額が異なりますので窓口にご相談下さい。

お知らせアラカルト

●ご利用ください！

老人いこいの家

4月1日から利用料金が430円になります。ご理解のうえ、よろしく願います。

●健康長寿センターに薔梅探のとてもすてきな作品を展示いただきました

宮崎 市川孝内さん



●病院ボランティア

公立置賜総合病院では、ボランティアさんを募集しています。

◆活動内容 各外来への案内等・外来待合室の図書等の整理等

◆活動時間 原則、月～金曜日午前8時30分～午後5時の都合のいい時間（週1回、3時間程度）

◆その他 交通費は自己負担・ボランティア保険加入有り（保険料は病院が負担）
※詳細は問合せください。☎・㊟置賜総合病院総務企画課 ☎46-5000

●全国社会福祉協議会より表彰状をいただきました



今後も地域福祉に邁進してまいります。

●ホームヘルパー募集中

【条件】ホームヘルパー2級以上取得者、心身の健康な方、普通自動車免許取得者、土・日勤務可能な方

【賃金】900円/時間+登録料6,000円/月、活動費(ガソリン代)支給

【お問合せ】

訪問介護事業所 ☎43-6635 (担当:高橋)

南陽市社会福祉協議会「介護サービス情報の公表」制度について、

指定情報公表センターのホームページ（インターネット）で規定に基づき公表しています。尚、当介護サービス事業で取得した個人情報、原則としてその目的以外には、利用いたしません。（個人情報保護方針）

社会福祉協議会へのお電話は…受付時間平日 8:30～17:15

いこいの家は 9:00～17:00 (月曜日はお休み)

事務局長・総務係・ふれあい総合相談所	43-5888
居宅介護支援事業所（居宅支援係）ケアマネージャー	43-7733
通所介護事業所（通所介護係）デイサービス	43-3288
訪問介護事業所（訪問介護係）ホームヘルパー	43-6635
老人いこいの家	40-2233

FAXは…43-3161

メールでのお問合せは…tyoju@ms3.omn.ne.jp

